

EPA 職員の受け入れに関する取り組み報告

社会福祉法人 サンライフ (愛知県)

住 所 〒 461-0004
愛知県名古屋市東区葵 3-25-23

T E L 052-856-3311

U R L <https://e-sunlife.or.jp/>

- 経 営 理 念**
- ・地域とともに少子高齢社会を考え、安心で未来ある街づくりに貢献します。
 - ・子どもの無限の可能性を引き出し個々のもつ力をはぐくみ、地域で育てる環境をつくります。
 - ・子どもの優しい心、豊かな心、強い心を育てます。
 - ・高齢者がもてる力を発揮して、自信と幸福を感じられる生活を支援します。
 - ・高齢者の尊厳と自己決定を尊重し、一人一人のライフスタイルを支援します。
 - ・職員がプロフェッショナルとして喜びと誇りを持ち、自ら改革する力をもてるよう育成します。
 - ・法律その他基準に従って、常に組織・運営を見直します。
 - ・地域社会の変化と改革の先駆者となります。
 - ・社会福祉制度のセーフティネットとしての役割を果たします。
 - ・地域社会の一員として、また地球市民として、環境に優しい業務運営に努めます。

- 事 業 内 容
及 び 定 員**
- ・特別養護老人ホーム (20名) 2か所、(29名) 1か所、(30名) 5か所、(54名) 1か所、(80名) 4か所、(90名) 2か所、(100名) 5か所、(140名) 1か所
 - ・介護老人保健施設 (80名) 1か所、(90名) 1か所、(100名) 1か所、(158名) 1か所、(サテライト型 20名) 1か所
 - ・ケアハウス (50名) 2か所、(60名) 1か所、(特定 29名) 1か所
 - ・養護老人ホーム (40名) 1か所、(50名) 1か所
 - ・認知症グループホーム (9名) 8か所、(18名) 5か所
 - ・サービス付き高齢者向け住宅 (22戸) 1か所、(24戸) 1か所
 - ・高齢者向け優良賃貸住宅 (43戸) 1か所、(51戸) 1か所、(52戸) 1か所
 - ・有料老人ホーム (住宅型 20戸) 2か所、(住宅型 24戸) 1か所、(住宅型 37戸) 1か所、(介護付 24名) 1か所、(介護付 36名) 1か所、(介護付 51名) 1か所
 - ・生活支援ハウス (10名) 1か所、(15名) 1か所
 - ・小規模多機能型居宅介護 (29名) 5か所
 - ・ショートステイ (10名) 8ヶ所、(12名) 1か所、(16名) 1か所、(18名) 4か所、(20名) 3か所

- ・大型デイサービス（190名）1か所、（200名）2か所
- ・デイサービス（10名）1か所、（15名）2か所、（17名）1か所、（18名）2か所、（35名）3か所、（40名）1か所、（42名）1か所、（50名）2か所、（52名）1か所、（60名）1か所
- ・大型デイケア（150名）1か所、デイケア（50名）1か所、（60名）2か所
- ・生活支援短期宿泊（2名）1か所
- ・訪問リハビリ 3か所、訪問介護 2か所
- ・居宅介護支援センター 14か所
- ・在宅介護支援センター 1か所、地域包括支援センター 4か所、
- ・一般賃貸住宅（10戸）1か所、（63戸）1か所、
- ・福祉用具レンタル1か所、
- ・認定こども園（60名）1か所、（69名）1か所、（127名）1か所
- ・認可保育園（90名）1か所 ・学童保育所（56名）1か所
- ・多世代交流による地域活性化の事業 1か所
- ・その他 1か所

収 入

（法人全体）
平成29年度決算

- ①社会福祉事業 12,883,985,791 円
（サンライフ：6,224,903,625 円、サン・ビジョン：6,659,082,166 円）
- ②公益事業 3,530,733,518 円
（サンライフ：2,399,709,686 円、サン・ビジョン：1,131,023,832 円）
- ③収益事業 144,150,874 円
（サンライフ：101,799,857 円、サン・ビジョン：42,351,017 円円）

職 員 数

（法人全体）

2,460名（非常勤含む）

当 面 す る 経 営 課 題

- 不適切ケアをなくす。
- 適切な収支差益を確保する。
- コンプライアンスを確保する。
- 職員を安定して確保する。

E P A 職員の受け入れに関する取り組み報告

社会福祉法人サンライフ
特別養護老人ホーム ジョイフル千種

施設紹介



ジョイフル千種

14F	交流ホール
10~13F	高齢者向け有料賃貸住宅
7~9F	介護付有料老人ホーム
2~6F	特別養護老人ホーム
1F	本部、事務所 レストラン
B1F	地下駐車場

E P A 職員の受け入れ状況

■ 受け入れ開始

平成28年8月～	ベトナム職員1名
平成29年8月～	ベトナム職員2名
平成29年12月～	フィリピン職員2名
平成30年8月～	ベトナム職員2名

計7名

2/16

取り組みの目的

E P A 候補生が、施設の介護職員として1日でも早く仕事を覚え、勤務していただく

3/16

活動内容 1（主な関係者）

- 本部・研修センター
- 日本語講師（外部講師）
- 施設長
- 介護長
- ユニットリーダー
- 介護部会

4/16

活動内容 2（本部担当者）①

- 受け入れ手続き
- 生活環境の準備・調整
- 受け入れ施設との連絡・調整
- 日本語講師、研修センターなどの
連絡・調整
- E P A職員、受け入れ施設の相談対応

5/16

活動内容 2（本部担当者）②

- 居住地（寮）
共同で生活できる
3DKを準備

- 家電の手配
右表参照

区分	物品	数量	
貸与 (貸与)	電化(でんか)(ガス)製品(せいひん)	冷蔵庫(れいぞうこ)	1台/戸
		洗濯機(せんたくき)	1台/戸
		調理用(ちようりよう)コンロ	1台/戸
		電子(でんし)レンジ	1台/戸
		エアコン	1台/戸
		炊飯器(ずいはんき)	1台/戸
		テレビ	1台/戸
		照明(しょうめい)器具(き)	1基/居室
		ファンヒーター	1台/居室
		家具(かぐ)	テーブル、椅子(いす)
カーテン	1式/戸		
シャワーカーテン	1式/戸		
食器(しょつき)戸棚等(とだなとう)の 収納(しゆうのう)家具(かぐ)	1式/戸		
物干(ものほし)さお	2本/戸		
室内用(しつないよう)ほうき、ちりとり	1組/戸		
自転車(じてんしゃ)	1台/人		

6/16

活動内容 3（研修センター）

- 入職後研修
約 2 週間、介護の知識と技術の習得
- フォローアップ研修
入職後 3 カ月間、月 1 回、学んだこと
の振り返り
- 国家試験対策講座
自主学習時間にて学習支援

7/16

活動内容 4（日本語講師）

- 毎週 2 時間の日本語の講義
- 学習状況の把握・報告
- 職員のストレス緩和
様々な相談にも乗っていただけており、ストレス緩和に繋がっている

8/16

活動内容 5（施設長・介護長）①

- 受け入れの周知
ポスターの掲示、会議
等で施設全体への周知
- 法人統一の対応、教育等の指示・管理
- 定期面談



9/16

活動内容6 (ユニットリーダー)

- O J T
現場での教育
- 日報の確認
悩みや不安、習得
状況の確認とともに
日本語能力の向
上

《EPA職員日報》		
		氏名
日	勤務形態/勤務時間	一日の中で特に学んだこと、疑問に思ったこと、できなかったことなどを記入して下さい。
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
月 日()	/ ~	
次週の勤務の目標		次週の勤務でできるようにしたいことや、学びたいことを記入して下さい。
評価コメント		指導者:

10/16

活動内容7 (介護部会) ①

- 法人統一フローなどの運用資料作成
- 教育プログラムの検討
- 情報共有・情報交換
受け入れ施設での就労状況、対応事例などの情報交換

11/16

活動内容 7 (介護部会) ②

EPA職員の独り立ちへのフローチャート

基本的介護チェック表 入浴

Ver.103

A: 出来ている B: だいたい出来ている C: 出来ていない D: 要指導

※新規採用者は2回目、中途採用者は1回目チェックでC評価が無ければ終了 (C評価がある場合は、期間を置いて再度評価を行う)

項目	内容	指導	評価				
			初回	2回目	3回目	4回目	5回目
入浴前	入浴担当の方に対し、個人に合った声掛けをしている						
	衣類準備は利用者様の意向を把握し、丁寧や気遣い配慮している						
	・パイタル、気分や体調について看護師との連携が図れている						
入浴中	・脱衣室と浴室の温度差があまりないようにする (急な気温変化で心臓に負担をかけるのを防ぐ)						
	・麻痺、拘縮等のある方の脱衣 (健側→患側の順で行う)						
	・残存機能を生かした介助をしている (袖を強く引っ張らず等)						
入浴後	・湯の温度を本人に確認し、足先から湯をかけている						
	・皮膚や全身の状態を観察している (異変があればNSに報告)						

12/16

活動内容 7 (介護部会) ③

EPA職員 業務状況表 H30.6月						
エリア	施設	国籍	入職年月	人数	夜勤有無	業務状況など
H28.8						
		ベトナム	H28.8	1名	なし	日勤帯の業務は行えているが報連相の意識が弱い。夜勤業務には入れていないことにも焦りは無い。再度、できていない部分の指導を行い、6月に夜勤再チャレンジを行う。
		ベトナム	H28.8	4名	あり	4名中2名は夜勤業務を独り立ちしている。他2名に関しては日勤帯の業務は全て独り立ちしている。今年度中には夜勤業務独り立ちを目指している。
		ベトナム	H28.8	3名	あり	3名とも夜勤まで独り立ちをしている。報連相もしっかりとできている。ご家族とのコミュニケーションに課題はある。
H28.12						
		フィリピン	H28.12	3名	あり	H29.12から夜勤業務開始。一人立ちは困難。日本語力に個人差あり。事故など緊急時の対応が一人では難しい。誰かが居れば可能。
		フィリピン	H28.12	3名	あり	H30.1から夜勤独り立ち。一通りの業務は出来ている。事故報告書など記録面でサポート必要。
		フィリピン	H28.12	2名	あり	H30.3～夜勤独り立ち 一通りの業務出来ている。記録等の業務サポート必要。
		フィリピン	H28.12	2名	あり	夜勤独り立ちし、ほとんどの業務が出来ている。7月にケース会議参加予定。

13/16

活動の成果 1

(E P A 職員の意見)

- 安心感がある
 - ・ 担当間の情報共有が出来ている
 - ・ 事前の周知が出来ているので、
「皆で受け入れる」という意識がある
 - ・ 教育方法が明確になっている
 - ・ フローにて手順が示されてる
-

14/16

活動の成果 2

(施設職員の意見)

- 職員の定着
 - 職員不足の解消
 - 日本人職員への好影響
 - E P A 職員が一生懸命に努力する姿は一緒に働く日本人にも良い影響を与えている
-

15/16

まとめ

E P A 受け入れ = 職員の定着
準備・連携を整えることで双方の負担は
少なく、受け入れもスムーズになる

彼らの成長とともに施設職員全体がレベ
ルアップしていけるように、今後も教育
を行っていききたい
